

2011年(平成23年)6月期(第15期) 第3四半期 決算説明資料

株式会社 ディーバ
(証券コード3836 JASDAQ)

2011年(平成23年)5月11日

DIVA®

I. 2011年(平成23年)6月期 第3四半期 決算概要

II. 新規事業の概要

* 資料内の数値は表示単位未満を切捨てて表示し、その数値より百分率を算出しております。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。

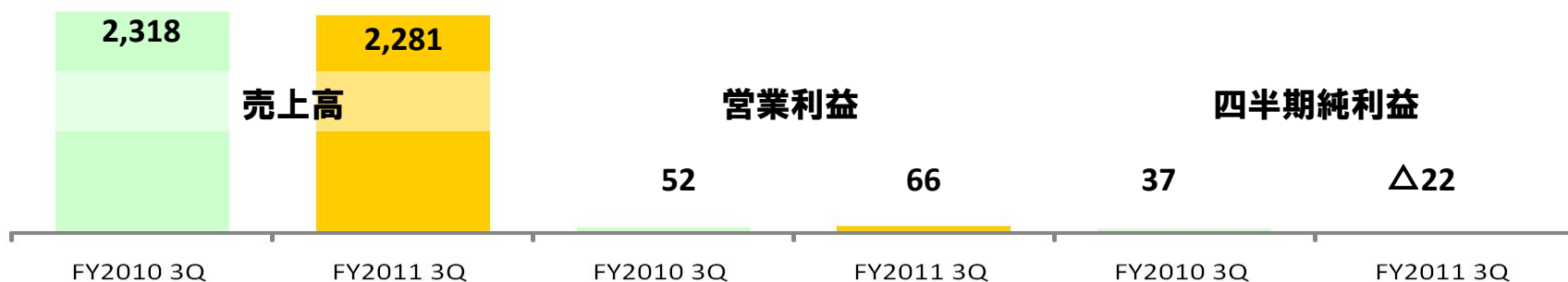
- I. 2011年(平成23年)6月期 第3四半期 決算概要
- II. 経営環境と中長期成長戦略

2011年6月期 第3四半期 決算概要

□ 前年同期比、減収増益

- IT投資は依然停滞、顧客セグメントを見直し提案強化するも売上高は前年同期比微減
- コスト削減と生産性向上を徹底、第3単四半期(1-3月)はリーマンショック以前並みの営業利益率16.3%を確保

(単位:百万円)

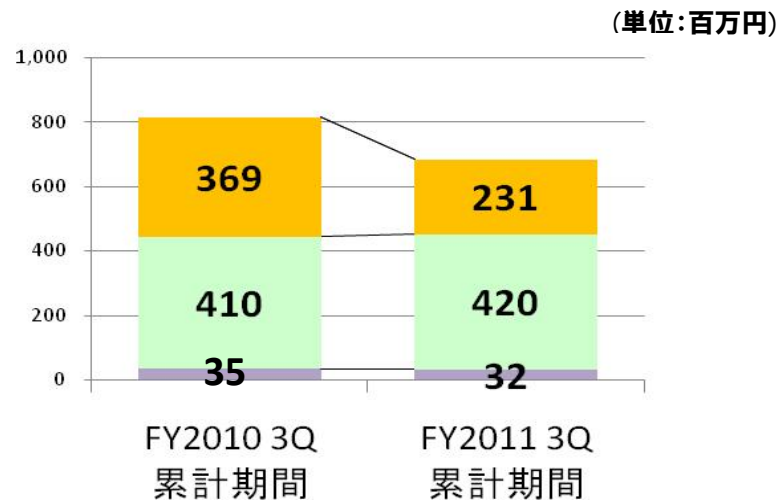
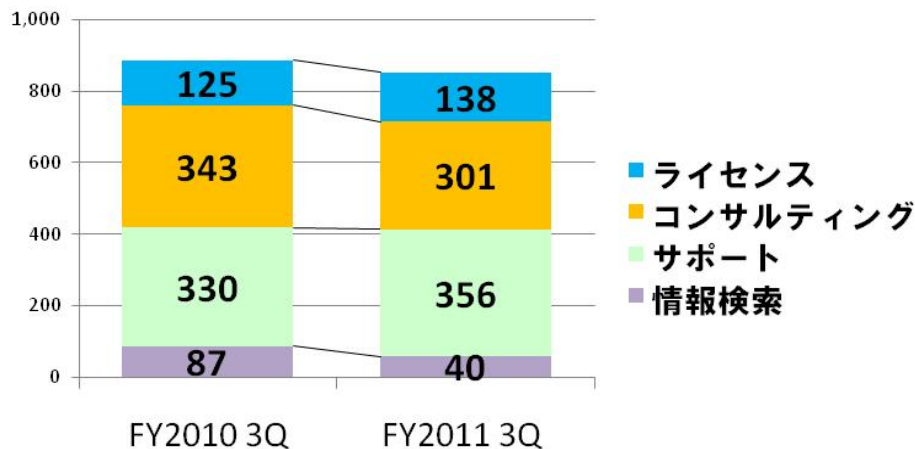


(単位:百万円)	2010年6月期		2010年6月期 第3四半期累計期間		2011年6月期 第3四半期累計期間		前年同期比	
	実績	(%)	実績	(%)	実績	(%)	増減	増減率
売上高	3,097	(100.0)	2,318	(100.0)	2,281	(100.0)	△ 37	△1.6%
売上原価	1,630	(52.6)	1,200	(51.8)	1,222	(53.6)	22	+1.8%
売上総利益	1,466	(47.4)	1,117	(48.2)	1,059	(46.4)	△ 58	△5.2%
販売費・一般管理費	1,414	(45.7)	1,065	(45.9)	992	(43.5)	△ 73	△6.9%
営業利益	52	(1.7)	52	(2.2)	66	(2.9)	14	+26.9%
経常利益	37	(1.2)	40	(1.7)	54	(2.4)	14	+35.0%
四半期利益(損失)	0	(0.0)	37	(1.6)	△ 22	(△1.0)	—	—

事業セグメント別 売上高・受注残高

□ 第3単四半期(1-3月)売上高:

- ライセンス:顧客セグメントを見直し提案強化、新規事業案件を獲得
- コンサルティング:大規模プロジェクトの停滞により導入支援サービスが減少
- サポート:顧客維持に努めた結果、安定推移
- 情報検索:大口顧客との取引解消あり前年同期比減少



売上高

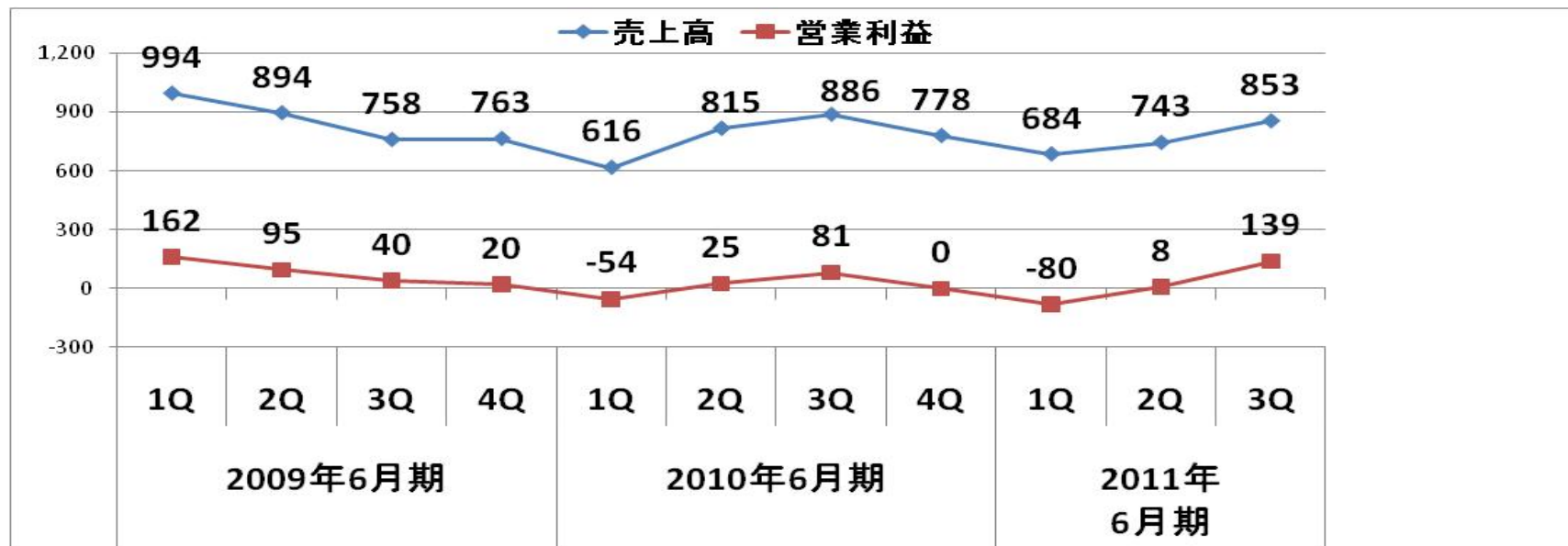
受注残高

(単位:百万円)	2010年6月期 第3四半期	2011年6月期 第3四半期	前年同期比 増減率
ライセンス	125	138	10.4%
コンサルティング	343	301	△12.2%
サポート	330	356	7.9%
情報検索	87	57	△34.5%
合計	886	853	△3.7%

(単位:百万円)	2010年6月期 第3四半期 累計期間	2011年6月期 第3四半期 累計期間	前年同期比 増減率
ライセンス	—	—	—
コンサルティング	369	231	△37.4%
サポート	410	420	2.4%
情報検索	35	32	△8.6%
合計	816	684	△16.2%

四半期推移 売上高・営業利益

(単位:百万円)

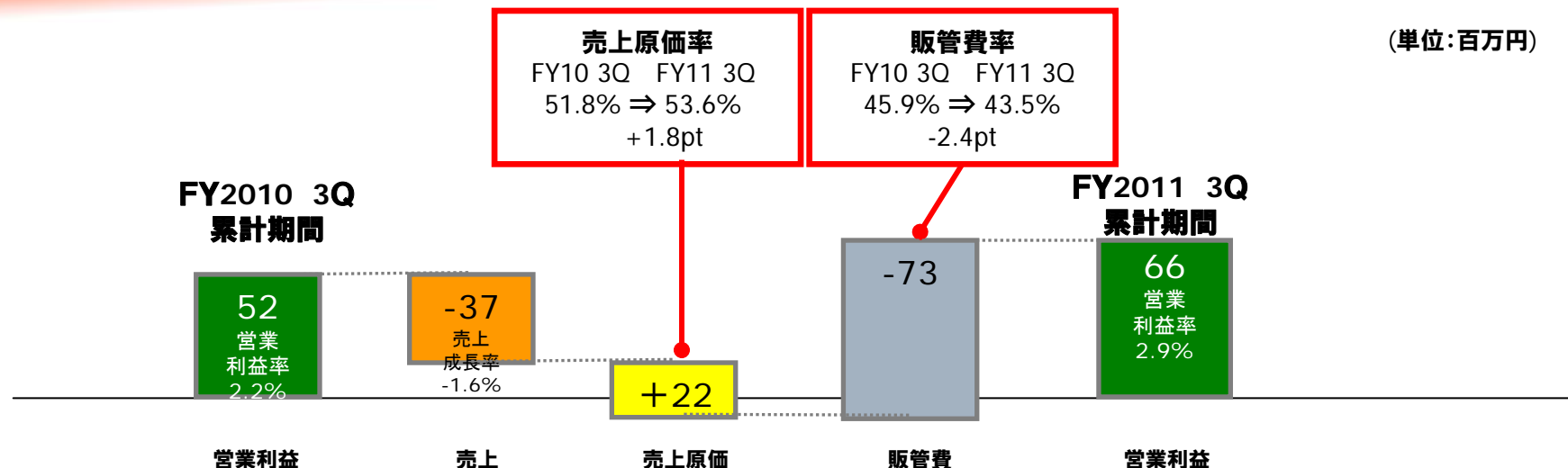


(単位:百万円)	2009年6月期				2010年6月期※				2011年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	994	894	758	763	616	815	886	778	684	743	853	
売上原価	402	401	377	366	331	417	451	429	407	368	446	
売上総利益	591	492	380	397	284	397	435	349	277	374	407	
販管費及び一般管理費	429	397	340	377	339	372	353	349	358	366	267	
営業利益(損失)	162	95	40	20	△54	25	81	0	△80	8	139	
営業利益率(%)	16.3	10.7	5.4	2.7	△8.8	3.1	9.2	0.0	△11.8	1.1	16.3	
経常利益(損失)	161	93	39	13	△58	22	76	△3	△84	5	133	
四半期純利益(損失)	95	55	22	11	△31	0	68	△36	△72	△23	72	

※ 2010年6月期第2四半期迄は個別業績です。

営業利益の増減要因

(単位:百万円)



● 売上原価額、売上原価率ともに増加

- ・売上原価額: 連結子会社の原価加算により増加
- ・売上原価率: 売上高が減少した一方、売上原価が増加し、1.8pt増の53.6%

● 販管費額、販管費率ともに減少

- ・販管費額: 非人件費経費の徹底した削減や、賞与の業績連動支給による人件費の流動化により減少
- ・販管費率: 売上高が減少するも販管費額の削減により2.4pt減の43.5%

2011年
6月期
第3四半期
累計期間

財務・キャッシュフローの状況

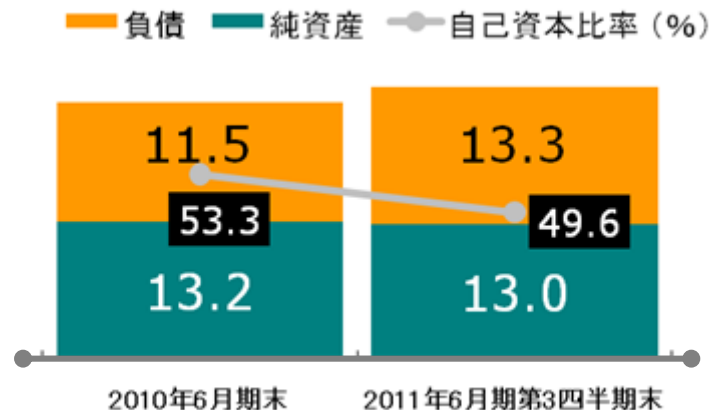
財務状況

2011年6月期 第3四半期末



純資産・負債・自己資本比率

(単位：億円)



キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2010年 6月期 第3四半期 累計期間	2011年 6月期 第3四半期 累計期間
営業CF	△222	△33
投資CF	△59	△176
財務CF	△71	334
フリーCF	△282	△209

主な増減要因

減価償却費	80百万円
固定資産除却損及び資産除去債務の影響	61百万円
たな卸資産の減少	34百万円
未払金及び未払費用の増加	67百万円
税金等調整前四半期純損失	△30百万円
前受収益の減少	△195百万円
引当金の減少	△48百万円

有形固定資産の取得	△90百万円
資産除去債務の履行	△75百万円
無形固定資産の取得	△44百万円
保険積立金の解約	48百万円

社債発行による収入	293百万円
短期借入れによる収入	100百万円
ファイナンス・リース債務の返済	△37百万円

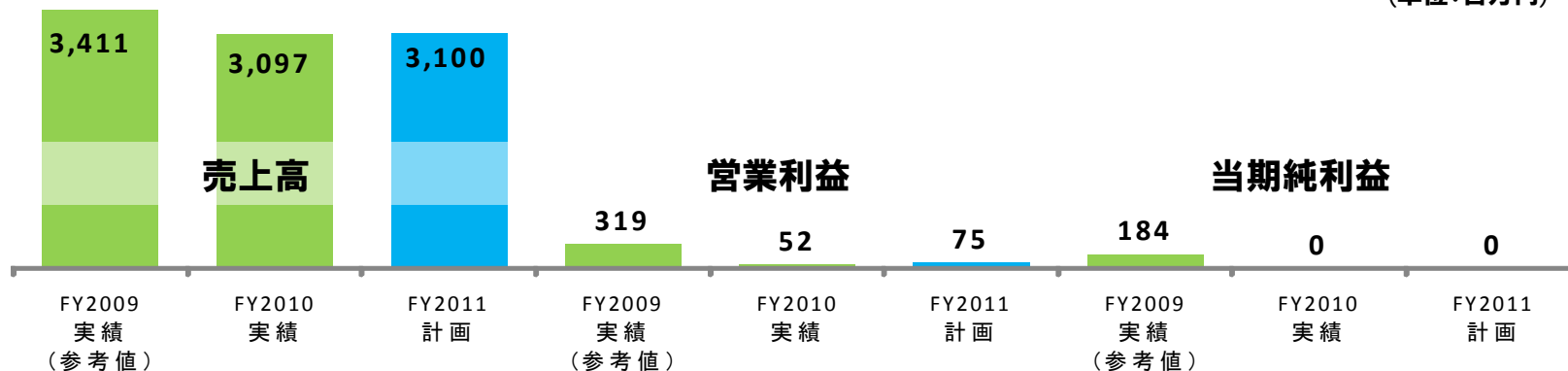
- **IT投資抑制が継続し減収も、収益性の改善に注力し営業増益**
 - IFRS強制適用を見据えた対応に備えてきたが、IT投資抑制による大規模プロジェクトの停滞により、売上高は前年同期比微減
 - 顧客セグメントを見直し、顧客セグメント毎の事業戦略の策定と事業部の再編を行い、業績目標達成に向けた提案活動を強化
 - 非人件費経費の徹底した削減と、賞与の業績連動支給による人件費の流動化により高収益体質への転換を推進
 - 第3単四半期(1-3月)はリーマンショック以前並みの営業利益率16.3%を達成

- **新規事業における大型案件獲得、高成長企業への転換目指す**
 - 将来の成長ドライバーである新規事業を推進、第3四半期に受注成果

2011年6月期 通期計画

- 連結売上高:3,100百万円
- 連結営業利益:75百万円

(単位:百万円)



(単位:百万円)	2009年6月期		2010年6月期		2011年6月期			
	個別・実績 (参考値)	(%)	連結・実績	(%)	連結・計画	(%)	第3四半期 累計・実績	進捗率
売上高	3,411	(100.0)	3,097	(100.0)	3,100	(100.0)	2,281	74%
売上原価	1,548	(45.4)	1,630	(52.6)	-	-	1,222	-
売上総利益	1,863	(54.6)	1,466	(47.3)	-	-	1,059	-
販管費及び一般管理費	1,544	(45.3)	1,414	(45.7)	-	-	992	-
営業利益	319	(9.4)	52	(1.7)	75	(2.4)	66	88%
経常利益	308	(9.0)	37	(1.2)	55	(1.8)	54	98%
当期純利益(損失)	184	(5.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	△ 22	-

※2009年6月期は個別業績です。

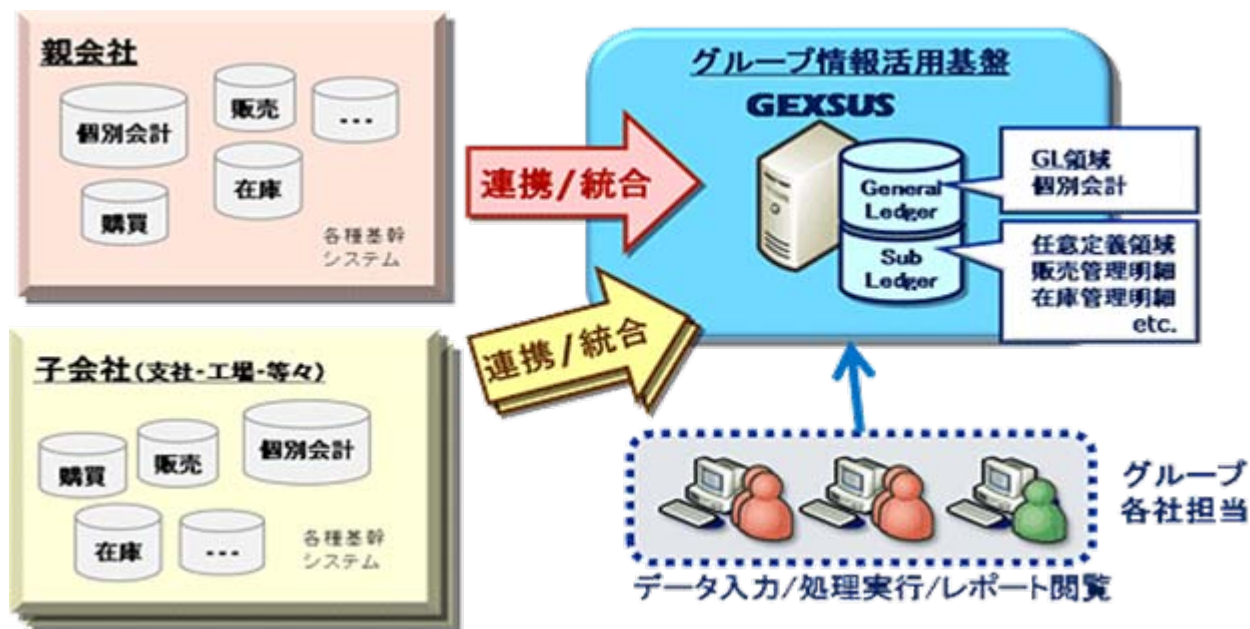
I. 2011年(平成23年)6月期 第3四半期 決算概要

II. **新規事業の概要**

グループ統合GLソリューション(GEXSUS)事業*

GEXSUS(ジェクサス)

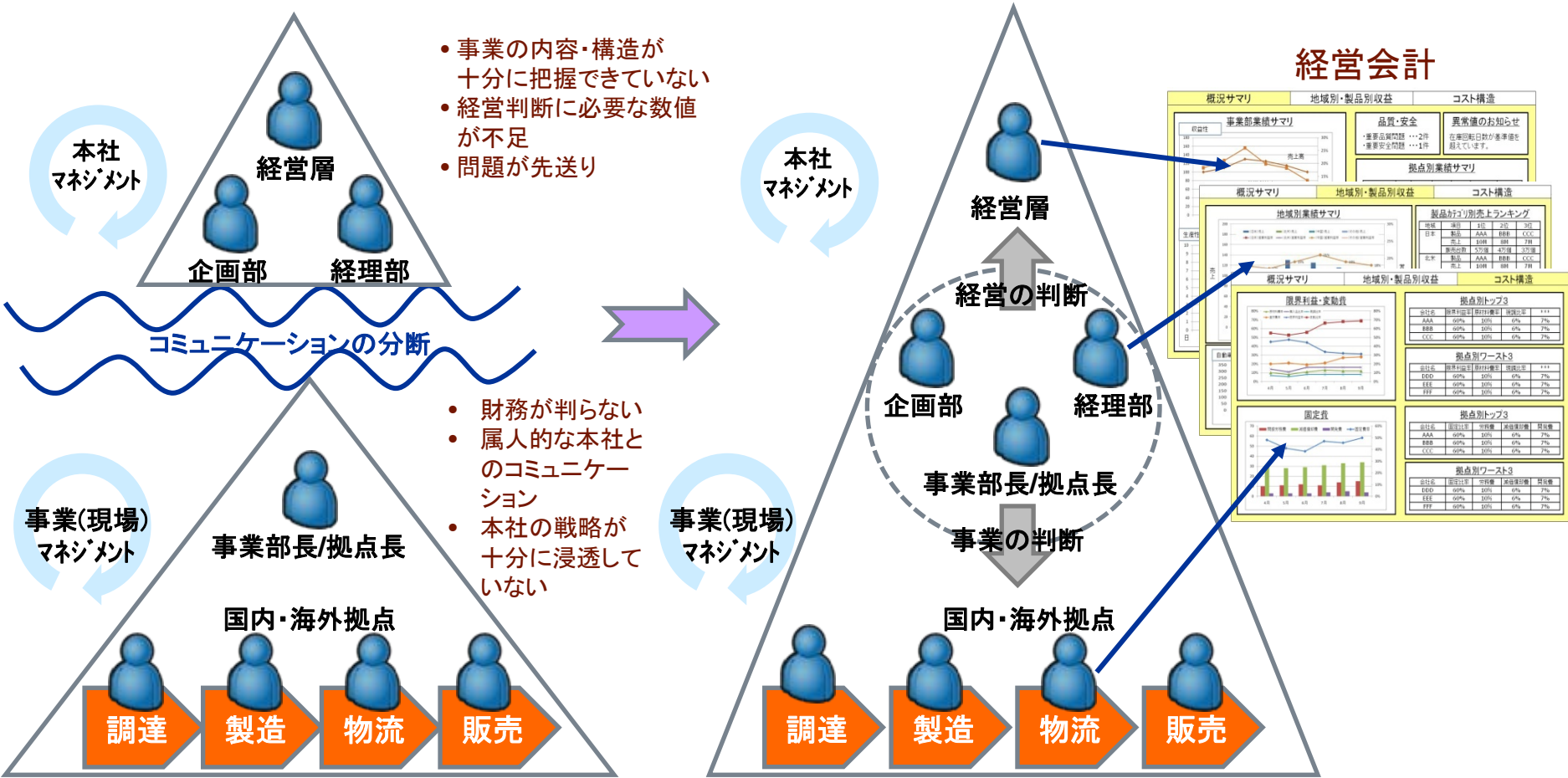
- グループ統合用の一般会計システム(またはソフト):
グループ内の一般会計システムや各種業務システムのデータを仕訳や明細レベルで統合
- グループ経営に貢献するデータウェアハウス:
子会社の情報を個別財務諸表レベルではなく各社の一般会計仕訳レベルで把握
- グループ全体でのIFRS統合業務にも貢献:
統合された領域での会計基準組替など、グループ統合個別決算業務をグループの各社が主体的に実施することが可能



*GL=General Ledger=総勘定元帳

経営会計・経営管理ソリューション事業

本社と事業部の分断をなくし、属人的なコミュニケーションではなく、経営層から各拠点まで経営会計という同じ情報を利用してコミュニケーションできる環境を構築



連結決算業務トータルアウトソーシング業務

連結決算業務アウトソーシング:

- 連結決算における収集から開示までの業務をディーバが代行
- 代行する業務範囲や対象のタイミング(負荷の高い年次決算のみなど)は、お客様が状況に応じて柔軟に選択

連結決算システムアウトソーシング:

- 高セキュリティなクラウド環境下にて連結決算システムの運用を代行
- コストの最適化とシステム運用レベルの向上を実現
- 標準サービスとして2010年7月に発表したDivaSystem Managed Service (DSMS)を提供

人財育成支援サービス:

- IFRSプロジェクト担当者、連結決算業務担当者などの実務家向け人財育成サービス
- 幅広いコンテンツと多様な方法で育成を支援

サービス範囲

	個別会計	連結会計			開示
		収集	連結	レポート	
人財育成		<ul style="list-style-type: none"> • 子会社教育 ✓ 収集パッケージ 入力定着化 ✓ IFRS基礎教育 	<ul style="list-style-type: none"> • 連結決算実務教育 • IFRS基礎教育 	<ul style="list-style-type: none"> • 開示業務実務教育 	
業務アウトソーシング	<ul style="list-style-type: none"> • 単体決算支援 	<ul style="list-style-type: none"> • 子会社向け説明会 • 収集パッケージ作成 • 内部取引照合 • 収集データチェックおよび子会社間合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> • 制度連結財務諸表作成 ✓ 連結範囲の変更 ✓ 連結財務諸表作成処理 ✓ 監査法人対応 • 管理連結(月次予算管理等)業務支援 • 経営会議資料作成 • IFRS対応シミュレーション支援 	<ul style="list-style-type: none"> • 開示書類作成支援 	
システムアウトソーシング	対象外	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションメンテナンスを含めたシステム運用一括アウトソーシング 			対象外

DIVA®

企業概要

社名	株式会社ディーバ（銘柄コード:3836 JASDAQ）
設立	1997年5月26日
メンバー	241名(連結ベース:2011年3月末現在)
資本金	2億8,840万円
所在地	東京本社、大阪オフィス、名古屋オフィス
関係会社	株式会社インターネットディスクロージャー DIVA AMERICA（ともに100%子会社）
決算概要	2010年6月期 連結売上高: 3,097百万円

<IR関連お問合せ先>

電話：03-5782-8600

Email：IR@diva.co.jp

担当：社長室・管理部